

# 病害虫発生予察情報 第3号

富山県農林水産総合技術センター所長

## 6月の病害虫発生予報

【予報の概要】

作物名	病害虫名	発生量	発生時期	作物名	病害虫名	発生量	発生時期	
水稲	いもち病（葉いもち）	やや多い	並～やや早い	果樹	果樹全般	カメムシ類	やや多い	—
	紋枯病	やや少ない	並～やや早い		りんご	褐斑病	やや多い	並
	斑点米カメムシ類					輪紋病	少ない	並
	アカヒゲホソミドリカスミカメ	やや多い	—			ハダニ類	やや多い	やや早い
	アカスジカスミカメ	やや多い	—			キンモンホソガ	並	—
	トゲシラホシカメムシ	並	—			カイガラムシ類	並	並
	ニカメイガ	並 （一部多い）	早い			日本なし	黒星病	多い
	イネミズゾウムシ	やや多い	—		輪紋病		少ない	並
	イネドロオイムシ	並	並		ナシヒメシンクイ		並	—
	ツマグロヨコバイ	並	並		ハマキムシ類		並	—
大豆	茎疫病	並	並	カイガラムシ類	多い	並		
	タネバエ	並	並	ハダニ類	やや多い	やや早い		
	ネキリムシ類	並	—	ぶどう	灰色かび病	少ない	並	
野菜	野菜全般	タバコガ類	並		並	べと病	並	並
		ネキリムシ類	並		—	かき（三社）	フジコナカイガラムシ	多い
	白ねぎ	さび病	やや少ない	並	もも	せん孔細菌病	やや少ない	—
		ネギアザミウマ	並	—	花き球根	チューリップ	球根腐敗病	やや多い
ネギハモグリバエ	多い	並	アブラムシ類	並		—		
				花き全般	タバコガ類	並	並	

富山県農林水産総合技術センター

農業研究所 病理昆虫課

TEL 076-429-2111

FAX 076-429-7974

情報参考 URL <https://taffrc.pref.toyama.jp/nsgc/nougyou/>

# I 水 稻

## 1 いもち病（葉いもち）

- (1) 予報内容 発生量：やや多い  
発生時期：並～やや早い

(2) 予報の根拠

【多発要因】

- ・ 6月後半の天気は平年と同様に曇りや雨の日が多く、気温は6月全体をとおして高いと予想されている。

(3) 防除対策

- ・ 放置されている補植苗は、速やかに抜き取り処分する。
- ・ 平年の初発日は7月12日であるが、気象条件によっては6月中旬に確認されることがあるので、BLASTAM情報（農業研究所ホームページ）をもとに、ほ場観察を励行し、早期発見・早期防除に努める。
- ・ 防除指針 30～31 ページ参照



BLASTAM  
QRコード  
(毎週火曜更新)

## 2 紋枯病

- (1) 予報内容 発生量：やや少ない  
発生時期：並～やや早い

(2) 予報の根拠

【少発要因】

- ・ 前年9月5日調査では発病株率が7.2%で平年（9.7%）よりやや低かった。

【早発要因】

- ・ 6月の気温は全体をとおして高いと予想されている。

(3) 防除対策

- ・ 平年の初発確認日は6月23日であることを踏まえて、ほ場の観察に努める。
- ・ 防除指針 29～30 ページ参照

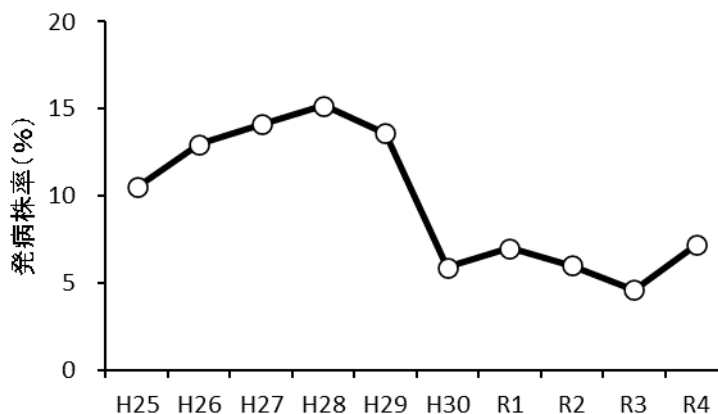


図1 紋枯病発病株率の年次推移（9月5日調査）

## 3 斑点米カメムシ類（アカヒゲホソミドリカスミカメ）

(1) 予報内容 発生量：やや多い

(2) 予報の根拠

- ・ 5月20日調査の畦畔・雑草地のすくい取り20回虫数は1.8頭で平年（1.4頭）並、確認地点率も35.6%で平年（32.5%）並であった。

【多発要因】

- ・ 6月の気温は全体をとおして高いと予想されている。

(3) 防除対策

- ・ 畦畔等のイネ科雑草の穂が出ないように草刈りに努める。
- ・ 防除指針 42、44ページ参照

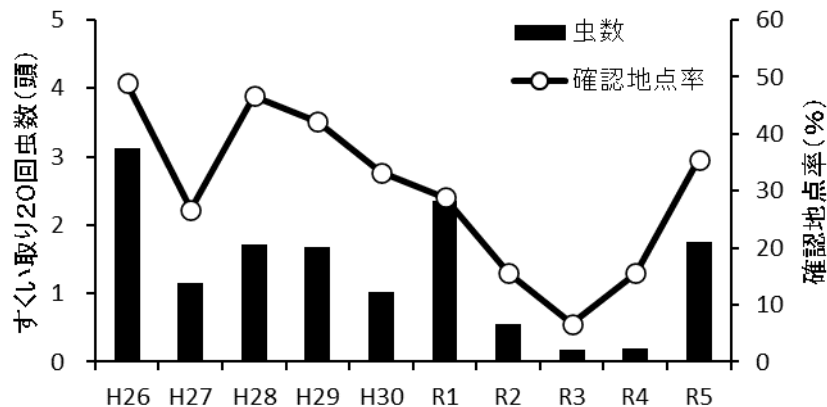


図2 アカヒゲホソミドリカスミカメの畦畔・雑草地すくい取り状況年次推移（5月20日調査）

#### 4 斑点米カメムシ類（アカスジカスミカメ）

(1) 予報内容 発生量：やや多い

(2) 予報の根拠

【多発要因】

- ・ 5月20日調査の畦畔・雑草地のすくい取り20回虫数は3.1頭で平年（1.5頭）より多かった。確認地点率は43.2%で平年（28.2%）より高かった。
- ・ 6月の気温は全体をとおして高いと予想されている。

(3) 防除対策

- ・ 畦畔等のイネ科雑草の穂が出ないように管理する。
- ・ 防除指針 42、44ページ参照

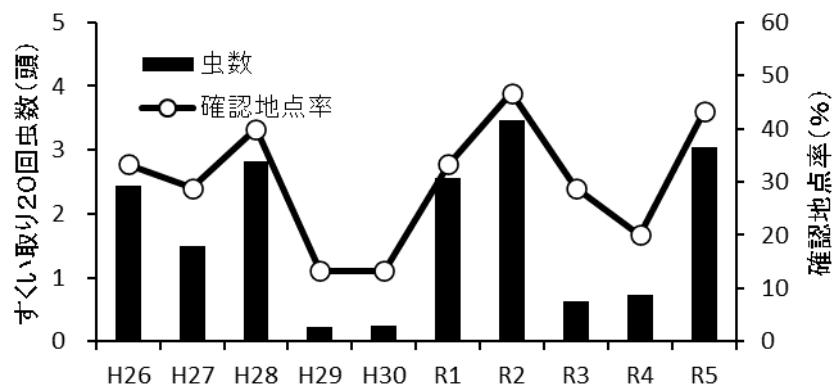


図3 アカスジカスミカメの畦畔・雑草地すくい取り状況年次推移（5月20日調査）

## 5 斑点米カメムシ類（トゲシラホシカメムシ）

(1) 予報内容 発生量：並

(2) 予報の根拠

- ・ 5月20日調査の畦畔・雑草地のすくい取り20回虫数は 0.1頭で平年（0.1頭）並、確認地点率は8.9%で平年（4.2%）よりやや高かった。

(3) 防除対策

- ・ 畦畔や周辺雑草地の刈り取りを徹底する。
- ・ 防除指針 43～44ページ参照

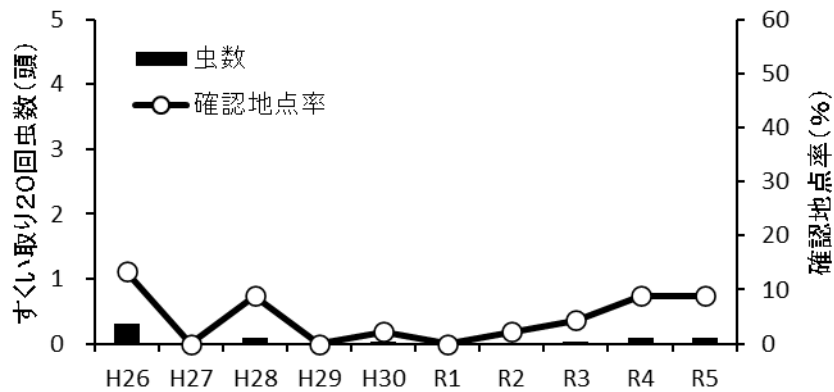


図4 トゲシラホシカメムシの畦畔・雑草地すくい取り状況年次推移（5月20日調査）

## 6 ニカメイガ（第1世代）

(1) 予報内容 発生量：並（一部多い）

発生時期：早い

(2) 予報の根拠

- ・ 前年の越冬前10a 当たり生幼虫数、及び本年のフェロモントラップへの誘殺数は一部地域で多かった。

【早発要因】

- ・ フェロモントラップへの誘殺数は平年より早く確認されている。

(3) 防除対策

- ・ 前年に被害が多くみられた地域では、幼虫の発生がだらついため、箱施薬剤を施用した場合でも必要に応じて適期に本田防除を行う。
- ・ 防除指針 37～38 ページ参照

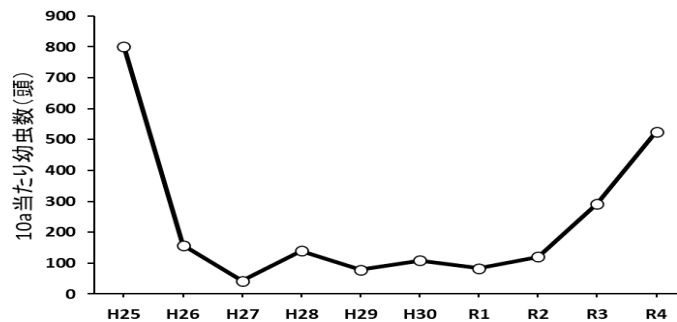


図5 ニカメイチュウの生幼虫数年次推移（越冬前調査）

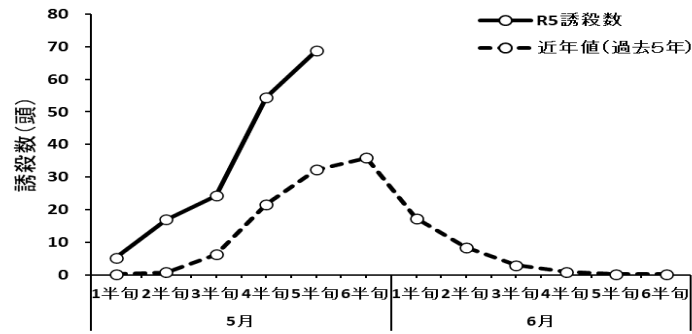


図6 ニカメイチュウトラップへの誘殺

## 7 イネミズゾウムシ

- (1) 予報内容 発生量：やや多い  
 (2) 予報の根拠

### 【多発要因】

・前年6月5日（被害盛期）の調査では、被害葉率3.6で平年（1.1%）より高かった。

- (3) 防除対策

・防除指針 36 ページ参照

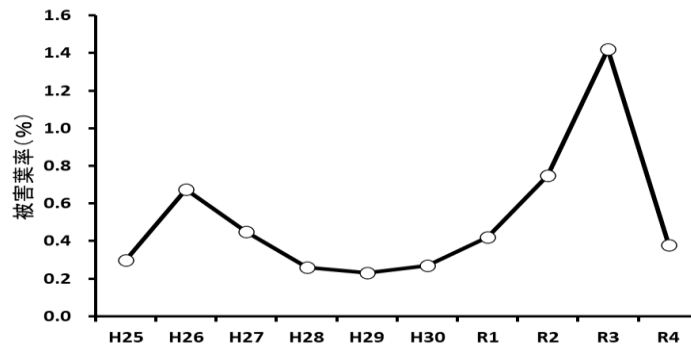


図7 イネミズゾウムシの被害葉率年次推移（越冬前調査）

## 8 イネドロオウムシ

- (1) 予報内容 発生量：並  
 発生時期：並

- (2) 予報の根拠

・前年6月5日（被害盛期）の調査では被害葉率が0.0%で平年（0.0%）並であった。

- (3) 防除対策

・防除指針 37 ページ参照

## 9 ツマグロヨコバイ

- (1) 予報内容 発生量：並  
 発生時期：並

- (2) 予報の根拠

・越冬後調査のすくい取り20回虫数は0.1頭で平年（0.2頭）より少なかった。

- (3) 防除対策

・防除指針 39ページ参照

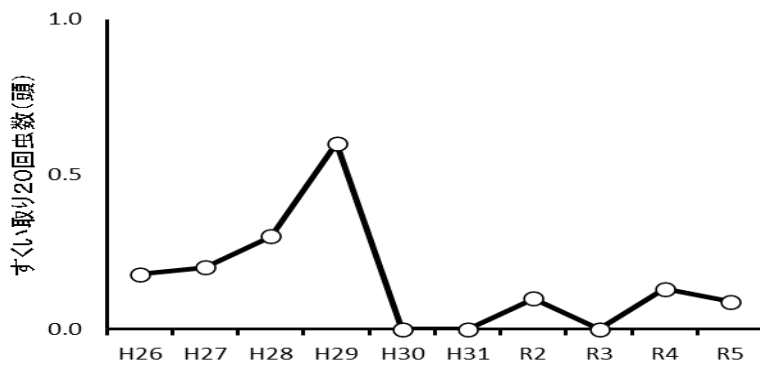


図8 ツマグロヨコバイのすくい取り状況年次推移（越冬後調査）

## Ⅱ 大豆

### 1 茎疫病

- (1) 予報内容                    発生量：並  
   発生時期：並
- (2) 予報の根拠
- ・ 6月後半は、平年と同様に曇りや雨の日が多いと予想されている。
  - ・ 6月の気温は全体をとおして高いと予想されている。
- (3) 防除対策
- ・ 茎疫病に登録のある剤を用い、種子消毒を確実に行う。
  - ・ ほ場の排水に努める。
  - ・ 防除指針 53～54 ページ参照

### 2 タネバエ

- (1) 予報内容                    発生量：並  
   発生時期：並
- (2) 予報の根拠
- ・ 6月の降水量は平年並と予想されている。
- (3) 防除対策
- ・ タネバエに登録のある剤を用い、種子消毒を確実にを行う。
  - ・ 早期播種や堆肥及び緑肥施用ほ場では、被害が多くなるので防除を徹底する。
  - ・ ほ場の排水に努める。
  - ・ 防除指針 53、55 ページ参照

### 3 ネキリムシ類（タマナヤガ、カブラヤガ）

- (1) 予報内容                    発生量：並
- (2) 予報の根拠
- ・ フェロモントラップによる5月1～5半旬までの誘殺数は、タマナヤガが18.0頭で平年(23.4頭)並であり、カブラヤガは89.7頭で平年(98.9頭)並であった。
- (3) 防除対策

- ・ネキリムシ類に登録のある剤を用い、種子消毒を確実に行う。
- ・出芽後定期的にはほ場を見回り、食害の早期発見に努める。
- ・ほ場周辺の雑草は、播種の一週間程前に刈取る。
- ・防除指針 53 ページ参照
- ・末尾に参考資料

## Ⅲ 野 菜

### 1 タバコガ類（タバコガ、オオタバコガ）

- (1) 予報内容            発 生 量：並  
                              発生時期：並
- (2) 予報の根拠
  - ・フェロモントラップによる5月3～5半旬の誘殺数は、タバコガが0頭で平年（0.9頭）より少なく、オオタバコガは1.0頭で平年（2.0頭）より少なかった。
  - ・6月の気温は全体をとおして高いと予想されている。
- (3) 防除対策
  - ・防除指針 68～130 ページのタバコガ類の項参照

### 2 ネキリムシ類（タマナヤガ、カブラヤガ）

- (1) 予報内容            発 生 量：並
- (2) 予報の根拠
  - ・フェロモントラップによる5月1～5半旬までの誘殺数は、タマナヤガが18.0頭で平年(23.4頭)並であり、カブラヤガは89.7頭で平年(98.9頭)並であった。
- (3) 防除対策
  - ・防除指針 70～131 ページのネキリムシ類の項参照
  - ・末尾に参考資料

### 3 白ねぎのさび病

- (1) 予報内容            発 生 量：やや少ない  
                              発生時期：並
- (2) 予報の根拠
  - 【少発要因】
  - ・5月25日の調査では被害株率が0.8%で平年(2.9%)より低かった。
  - ・6月後半の天気は、平年と同様に曇りや雨の日が多いと予想されている。
  - ・6月の気温は全体をとおして高いと予想されている。
- (3) 防除対策
  - ・防除指針 98 ページ参照

### 4 白ねぎのネギアザミウマ

- (1) 予報内容            発 生 量：並
- (2) 予報の根拠

- ・ 5月25日の調査では被害株率が10.4%で平年(14.2%)より低かった。
- ・ 6月の気温は全体をとおして高いと予想されている。

(3) 防除対策

- ・ 防除指針 100 ページ参照

## 5 白ねぎのネギハモグリバエ

- (1) 予報内容           発生量：**多い**  
                                発生時期：並

(2) 予報の根拠

【多発要因】

- ・ 5月25日の調査では、被害株率が16.8%で平年(5.3%)より高かった。
- ・ 6月の気温は全体をとおして高いと予想されている。

(3) 防除対策

- ・ 防除指針 99～100 ページ参照

## IV 果樹

### 1 果樹のカメムシ類

- (1) 予報内容           発生量：**やや多い**

(2) 予報の根拠

【多発要因】

- ・ フェロモントラップによる4月4半旬～5月3半旬のチャバネアオカメムシの誘殺数は10.6頭で、平年(2.9頭)よりやや多かった。

(3) 防除対策

- ・ 発生状況に注意し、園地への飛来がみられる場合は効果の高い薬剤（ネオニコチノイド系殺虫剤等）を散布する。
- ・ 防除指針：りんご 138、143、146～147 ページ、日本なし 149、154、157 ページ、かき 165、169 ページ、もも 172、174 ページ参照

### 2 りんごの褐斑病

- (1) 予報内容           発生量：**やや多い**  
                                発生時期：並

(2) 予報の根拠

【多発要因】

- ・ 前年の発生量はやや多かった。

(3) 防除対策

- ・ 前年発生が多かった園地や発生が懸念される園地では、薬剤の散布量を十分に確保する。
- ・ 降雨などにより薬剤の散布間隔が10日以上開きすぎないように注意し、雨前防除を実施する。



- ・主枝や亜主枝から発生している新梢を適宜切除するとともに、枝つりや支柱入れを行い薬剤の到達性を高める。
- ・防除指針：138、140～141、145～146ページ参照

### 3 りんごの輪紋病

- (1) 予報内容            発生量：少ない  
                              発生時期：並

- (2) 予報の根拠

【少発要因】

- ・前年の発生量は少なかった。

- (3) 防除対策

- ・梅雨期間中は重要防除時期なので、薬剤の散布間隔が10日以上開きすぎないように注意し、雨前防除を実施する。
- ・防除指針：138、141、145～146ページ参照

### 4 りんごのハダニ類

- (1) 予報内容            発生量：やや多い  
                              発生時期：やや早い

- (2) 予報の根拠

【多発要因】

- ・前年の発生量はやや多かった。

【早発要因】

- ・3～5月上旬の気温は平年より高かった（平年差：3月 +3.4℃、4月 +1.5℃、5月上旬 +0.2℃）。

- (3) 防除対策

- ・殺ダニ剤の散布前には草刈りを行い、ハダニ類が樹上へ移動した後に散布する。
- ・ハダニ類は高温・乾燥が続くと急増するので、発生状況に注意し、発生が認められた場合は早めに防除する。
- ・防除指針：138、142、144～145、147ページ参照

### 5 りんごのキンモンホソガ

- (1) 予報内容            発生量：並

- (2) 予報の根拠

- ・フェロモントラップによる4月4半旬～5月3半旬の誘殺数は0.7頭で、平年（1.1頭）並であった。

- (3) 防除対策

- ・第1世代成虫発生盛期（平年では6月上旬頃）は重要防除時期なので、適期防除に努め

る。

・防除指針：138、142～143、146～147 ページ参照

## 6 りんごのカイガラムシ類

(1) 予報内容            発 生 量：並  
                             発生時期：並

(2) 予報の根拠

・前年の発生量は平年並であった。

(3) 防除対策

・前年発生が多かった園地では、アプロードフロアブル（1,000～1,500 倍）を散布する。  
・防除指針：138、143～144、146～147 ページ参照

## 7 日本なしの黒星病

(1) 予報内容            発 生 量：**多い**

(2) 予報の根拠

### 【多発要因】

・主要産地における現在までの発生量はかなり多い。  
・6 月後半の天気は、平年と同様に曇りや雨の日が多いと予想されている。

(3) 防除対策

・り病した果実や葉は、見つけ次第除去し、園地外に持ち出して処分する。  
・発生の多い園地では、効果の高い薬剤を使用し、特別散布する。  
・降雨などにより薬剤の散布間隔が 10 日以上開きすぎないように注意し、雨前防除を実施する。  
・防除指針：149～153、156 ページ参照

## 8 日本なしの輪紋病

(1) 予報内容            発 生 量：少ない  
                             発生時期：並

(2) 予報の根拠

### 【少発要因】

・前年の発生量は少なかった。

(3) 防除対策

・梅雨期間中は重要防除時期なので、薬剤の散布間隔が 10 日以上開きすぎないように注意し、雨前防除を実施する。  
・防除指針：149～153、156 ページ参照

## 9 日本なしのナシヒメシンクイ

(1) 予報内容 発生量：並

(2) 予報の根拠

- ・フェロモントラップによる4月4半旬～5月3半旬の誘殺数は11.0頭で、平年（10.8頭）並であった。

(3) 防除対策

- ・第1世代成虫発生盛期（平年では6月2半旬頃）は重要防除時期なので、適期防除に努める。
- ・防除指針：149、153～154、157～158ページ参照

## 10 日本なしのハマキムシ類

(1) 予報内容 発生量：並

(2) 予報の根拠

- ・フェロモントラップによる4月4半旬～5月3半旬の誘殺数は3.4頭で、平年（1.4頭）並であった。

(3) 防除対策

- ・越冬世代成虫発生盛期（平年では5月4～5半旬頃）の7～10日後に防除を実施する。
- ・防除指針：149、153～154、157～158ページ参照

## 11 日本なしのカイガラムシ類

(1) 予報内容 発生量：**多い**

発生時期：並

(2) 予報の根拠

### 【多発要因】

- ・前年の発生量は多かった。

(3) 防除対策

- ・前年発生が多かった園地では、アプロードフロアブル（1,000倍）を散布する。
- ・防除指針：149、153～154、157～158ページ参照

## 12 日本なしのハダニ類

(1) 予報内容 発生量：**やや多い**

発生時期：**やや早い**

(2) 予報の根拠

### 【多発要因】

- ・前年の発生量はやや多かった。

### 【早発要因】

- ・3～5月上旬の気温は平年より高かった（平年差：3月 +3.4℃、4月 +1.5℃、5月上旬 +0.2℃）。

(3) 防除対策

- ・殺ダニ剤の散布前には草刈りを行い、ハダニ類が樹上へ移動した後に散布する。
- ・ハダニ類は高温・乾燥が続くと急増するので、発生状況に注意し、発生が認められた場合は早めに防除する。
- ・防除指針：149、155、157～158ページ参照

### 1 3 ぶどうの灰色かび病

- (1) 予報内容            発生量：少ない  
                              発生時期：並

(2) 予報の根拠

【少発要因】

- ・前年の発生量は少なかった。

(3) 防除対策

- ・り病した花穂や果房、葉などは見つけ次第除去し、園地外に持ち出して処分する。
- ・袋かけ前に果房に花かすが残らないように取り除く。
- ・落花後は重要防除時期なので、薬剤の散布間隔が10日以上開きすぎないように注意し、雨前防除を徹底する。
- ・防除指針：160～162ページ参照

### 1 4 ぶどうのべと病

- (1) 予報内容            発生量：並  
                              発生時期：並

(2) 予報の根拠

- ・前年の発生量は平年並であった。

(3) 防除対策

- ・り病した花穂や葉などは見つけ次第除去し、園地外に持ち出して処分する。
- ・防除指針：160～163ページ参照

### 1 5 かき（三社）のフジコナカイガラムシ

- (1) 予報内容            発生量：多い

(2) 予報の根拠

【多発要因】

- ・フェロモントラップによる5月1～3半旬の誘殺数は355.5頭で、平年（47.7頭）より多かった。

(3) 防除対策

- ・第1世代ふ化幼虫発生期（平年では6月下旬～7月上旬頃）は重要防除時期なので、適期防除に努める。

・防除指針：165～166、168～169ページ参照

## 16 もものせん孔細菌病

(1) 予報内容 発生量：やや少ない

(2) 予報の根拠

### 【少発要因】

・前年の発生量はやや少なかった。

(3) 防除対策

・果実への感染を防ぐため、6月中旬までに袋掛けを終了する。

・発生が多い園地では、6月上旬までに袋掛けを終了し、速やかにICボルドー412（50倍）を散布する。ただし、葉害防止のため、散布後2～3日程度降雨が予想されない時期を見計らって散布する。

・防除指針：171～172、174ページ参照

## V 花き・球根

### 1 チューリップの球根腐敗病

(1) 予報内容 発生量：やや多い

(2) 予報の根拠

### 【多発要因】

・6月の気温は全体をとおして高いと予想されている。

(3) 防除対策

・発病株の抜き取りを徹底する。

・適期の掘り取りに努める。

・掘り取り後は速やかに水洗・乾燥する。

・防除指針：188ページ参照

### 2 チューリップのアブラムシ類

(1) 予報内容 発生量：並

(2) 予報の根拠

・チューリップ予察ほ場（無防除）において5月中旬以降の有翅虫飛来数が平年並である。

(3) 防除対策

・生育後半まで定期的に薬剤を散布する。

・防除指針：189、207～208ページ参照

### 3 タバコガ類（タバコガ、オオタバコガ）

(1) 予報内容 発生量：並

発生時期：並

(2) 予報の根拠

- ・フェロモントラップによる5月3～5半旬の誘殺数は、タバコガが0頭で平年（0.9頭）より少なく、オオタバコガは1.0頭で平年（2.0頭）より少なかった。
- ・6月の気温は全体をとおして高いと予想されている。

(3) 防除対策

- ・防除指針 196、202、203、208、209、212 ページ参照

令和5年度農薬危害防止運動の実施について

- 全国運動のテーマ：「守ろう 農薬ラベル、確かめよう 周囲の状況」
- 富山県の運動期間：農薬の繁用期である「4月13日～9月14日」

参考資料

ネキリムシ類のトラップ誘殺数調査結果（令和5年度）

令和5年6月6日  
農業研究所病理昆虫課

5月1半旬～5半旬のトラップ誘殺数はタマネヤガ、カブラヤガともに平年並みであるが、一部カブラヤガが多い圃場がある。

表1 タマネヤガのトラップ誘殺数 (平年:H25年～R4年)

月・半旬	入善町上野			立山町利田			射水市作道			南砺市竹内			平均		
	本年	前年	平年	本年	前年	平年	本年	前年	平年	本年	前年	平年	本年	前年	平年
1	0	0	4.9	7	0	9.2	5	0	4.0	-	-	2.6	4.0	0.0	5.2
2	0	1	2.2	9	10	9.7	3	0	4.8	6	0	3.3	4.5	2.8	5.0
5月3半旬	0	1	2.4	7	13	7.5	1	0	4.8	6	0	1.8	3.5	3.5	4.1
4	0	1	5.2	9	15	7.3	1	0	4.7	7	0	1.3	4.3	4.0	4.6
5	0	4	7.5	3	11	5.6	3	0	3.4	1	0	1.3	1.8	3.8	4.5
6		4	7.7		6	6.3		0	3.4		0	1.5		2.5	4.7
6月1		3	10.4		2	6.7		2	4.3		0	2.0		1.8	5.9
2		5	6.9		0	8.4		2	4.1		0	1.1		1.8	5.1
3		7	8.4		3	9.2		1	3.1		0	1.1		2.8	5.5
6月4旬		9	8.6		0	7.0		0	4.0		0	0.9		2.3	5.1
5		8	9.0		0	8.0		0	3.2		0	1.3		2.0	5.4
6		1	5.5		2	11.8		0	3.2		0	0.6		0.8	5.3

注)タマネヤガは主に海外から飛来

表2 カブラヤガのトラップ誘殺数 (平年:H25年～R4年)

月・半旬	入善町上野			立山町利田			射水市作道			南砺市竹内			平均		
	本年	前年	平年	本年	前年	平年	本年	前年	平年	本年	前年	平年	本年	前年	平年
1	0	0	12.2	8	0	28.8	18	5	11.4	-	-	15.5	8.7	1.7	17.0
2	0	4	19.7	11	5	24.6	5	10	13.7	70	11	16.6	21.5	7.5	18.6
5月3半旬	0	4	24.3	15	5	29.7	2	5	13.6	74	12	17.0	22.8	6.5	21.2
4	0	4	26.0	19	5	25.4	3	3	12.7	66	10	17.2	22.0	5.5	20.3
5	1	4	32.2	20	6	21.5	4	2	14.7	34	14	18.9	14.8	6.5	21.8
6		4	31.4		19	22.9		0	10.3		12	23.1		8.8	21.9
6月1		5	28.2		1	15.1		7	14.0		11	20.6		6.0	19.5
2		9	12.6		23	10.5		5	12.4		15	20.8		13.0	14.1
6月3半旬		16	15.8		7	9.2		6	13.4		12	19.6		10.3	14.5
4		6	12.0		4	7.0		3	10.9		15	14.9		7.0	11.2
5		4	8.3		3	7.7		2	8.4		12	14.8		5.3	9.8
6		3	12.3		5	16.6		2	9.4		11	12.7		5.3	12.8

注)カブラヤガは本県で越冬が可能

飛来日 (産卵日)	5月																															6月																															7月																																																																																					
	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6	7	8	9																																																																																																				
4月25日	○																																◎																															●																																																																																				
4月30日	○																															◎																															●																																																																																					
5月5日	○																															◎																											●																																																																																									
5月10日																															○																														◎																													●																																																										
5月15日																															○																														◎																													●																																																										
5月20日																															○																														◎																													●																																																										
5月25日																															○																														◎																													●																																																										
5月31日																															○																														◎																													●																																																										
6月5日																															○																														◎																													●																																																										
6月10日																															○																														◎																													●																																																										

図 積算気温から推定したタマネヤガ幼虫による大豆茎切断被害発生時期の予測(富山市)

注1) ○:茎切断開始時期(3齢幼虫出現時期) ◎:本格的な茎切断開始(5齢幼虫出現時期) ●:茎切断終了時期(蛹化開始時期)  
注2) 平均気温は気象台の富山アメダス地点のデータを利用し、5月28日までは実測値、29日以降は平年値。

今後、トラップ誘殺数が増える場合は、大豆茎切断被害発生時期の予測図を参考には場での被害状況を確認し、茎切断率が15%を超える場合には防除する。

# 北陸地方 3か月予報

(予報期間 6月から8月)

5月23日

新潟地方气象台 発表

## <予想される向こう3か月の天候>

向こう3か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

この期間の平均気温は、平均気温は、平年並または高い確率ともに40%です。降水量は、平年並の確率が30%、平年より多いが40%です。

6月 期間の前半は、天気は数日の周期で変わるでしょう。期間の後半は、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

気温は、平年並の確率が30%、平年より高い確率が40%です。

降水量は、平年並の確率が40%、平年より多い確率が30%です。

7月 平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

気温は、平年並または多い確率ともに40%です。

8月 平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

気温は、平年並または高い確率ともに40%です。

項目	地域	06月~08月	20	40	40
		気温	北陸地方	06月	30
		07月	20	40	40
		08月	20	40	40
降水量	北陸地方	06月~08月	30	30	40
		06月	30	40	30
		07月	30	30	40
		08月	30	40	30

■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)